

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)		コンビニ（経営者）	・コンビニ業界は、夏の暑さが非常に追い風となる。今年は暑い夏が予想されていることから、3か月後はかなり期待できるのではないかとみている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・長期予報によると、今年は猛暑となりそうなので、夏物、エアコン等に期待できそうである。
		スーパー（経営者）	・6～7月は、気温の上昇で飲料水が売れ、イベント等も増えるため、売上は増加する。前年比でも増加するとうれしい。
		乗用車販売店（経営者）	・商品改良イベントなどの効果で、新車販売は上向いてくる。
		一般レストラン（経営者）	・地元客、週末の県外客の動きに、徐々にではあるが期待できる。
		都市型ホテル（支配人）	・季節的要因も大きいですが、繁忙期に入ってきている。施設、客室の増床による売上増も期待でき、近隣商店にも多少の影響を与えていくとみている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・金融関係で個人を集めたセミナーが多くなっている。かなりお金を持っている、お金を使う余裕のある個人客が増えてきているのかとみている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・最近の問合せは、葬儀後の内容が多い。誰に聞いたらいいのか不安な人が多い。
		住宅販売会社（従業員）	・別荘の見学者数が前年同期比で、若干ながら増加している。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・猛暑が予想されているものの、それに対する消費者の反応も薄く、季節商材やエアコンの売上増を期待したいが、その時にならないと分からない。事前に準備をする様子は見られない。
		百貨店（営業担当）	・現状の購買の様子をみても、さほど変わらない。世間では製造業を中心に景気が良いという話だが、個人消費まではなかなか回ってきていない。これからもそう簡単には回ってこないかとみている。
		スーパー（経営者）	・ゴールデンウィークが安定した天候ならば売上は維持できるとみている。
		スーパー（経営者）	・人口減少と競争激化に変わりはない。
		コンビニ（店長）	・周りの状況が今後変わっていくという話は今のところないので、変わらない。
		家電量販店（店長）	・前年の状況を考慮すると、気温の変化や特別な需要がなければ現状維持とみている。
		乗用車販売店（経営者）	・特にこれといったモデルチェンジの情報もなく、販売台数の増加は期待できない。
		一般レストラン（経営者）	・今月は、同業の4軒で食べ歩きイベントを企画しているが、思ったほどの人出がない。
		スナック（経営者）	・悪い状態で変わらない。景気が良くなる要素が1つも見つからない。何か良い方法はないか。
		観光型旅館（経営者）	・ここ数年、春から初夏にかけては売上の横ばい傾向が続いている。5～6月の予約状況も例年どおりで、変わらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・非常に低調な推移のため、この先はある程度回復するとみていたが、県知事の辞任による影響で停滞する。過去の大きな選挙時は、全体的に人の流れが止まり、それが選挙終了まで続くため、今回も回復が見込めない状況になる。
	旅行代理店（副支店長）	・大きく影響があるとは考えにくいですが、九州の火山噴火や沖縄のはしかの流行などの影響を懸念する。本州や北海道に感染が広がると、修学旅行や企業出張など繁忙期の収入に大きな影響が出そうで心配である。	
	通信会社（経営者）	・加入促進のPRなどを行っても、全く反応がない。	
	ゴルフ場（経営者）	・今後の人材不足が不安である。サービスの低下、又は削減を検討せざるを得ない。もっと働きたいというアルバイトの女性も多い。	
	ゴルフ場（経営者）	・人口減少という意味では、供給過多の影響は大きいですが、縮小均衡の方向性を見いだすことも可能かもしれない。	
	美容室（経営者）	・来月はゴールデンウィークに入るが、来客数、客単価はそれほど変わらない。	
	設計事務所（経営者）	・依頼を受けた計画前段階の物件がいくつかあるため、しばらく忙しい状況は続く。	
	商店街（代表者）	・毎年、学校販売が終わると次は、旅行、臨海教室、登山となる。ただし、これは学校指定ではなく希望制で、以前からずっと販売をしているが、前年あたりから、親戚、兄弟、近所で用具等を融通し合っているようで、かなり注文が落ちてきている。	

	商店街（代表者）	・最近の天候で、季節要因の商売が読めなくなっている。
	百貨店（店長）	・天候不順の影響もあるが、売上が厳しい。また、ここきて政治や海外情勢の不透明感もあり、株価が低迷しており、富裕層の動きが良くない。
	コンビニ（エリア担当）	・人口は減っているが、購入場所は増えており、店舗ごとの来客数、販売量は減少している。
	自動車備品販売店（経営者）	・ゴールデンウィークで外出、遠出の支出が増える分、買い回り品への支出は抑制される。堅調だった製造業の残業が減っているという話が増えてきている。
	一般レストラン（経営者）	・郊外型の店舗がどんどん増えて、客の気持ちもそちらに移行していると肌で感じる。また、小さな店舗を少人数で経営する店も増えており、客の分散化が顕著である。
	スナック（経営者）	・全体的な勢いがなくなってきており、少し悪化してきたようである。人は動いてもお金は使わない。
	スナック（経営者）	・企業の歡送迎会も一段落して終わったので、団体客がなかなか動けなくなり、通常に戻るため、大きな売上は期待できなくなる。また、厳しい日々が続くとみている。
	観光型ホテル（支配人）	・通常は夏になるとインパウンド客が減少する一方、国内客は増えるが、現状、予約の出足は鈍い。
	タクシー運転手	・昼間の動きは天候によって大分変わる。夜は、酒を飲みに出掛ける人が減ったようである。
	x 衣料品専門店（経営者）	・7～8月は暑くなり、夏物衣料の準備も終わっている。
企業 動向 関連	-	-
(甲信越)	金融業（経営企画担当）	・海外の地政学、政治リスクの懸念が和らいで、ようやく調整局面にあった株式、為替市場も再度上昇に向かう展開となってきた。夏場までは上昇が続くと予想する。
	食料品製造業（製造担当）	・原料高にもかかわらず、販売価格は変わらない状態が続いている。客は価格重視の傾向が否めない。この状態はまだしばらく続く。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・ゴールデンウィークをはさんで谷間の時期となるため、厳しい状態である。
	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先からの受注見込みに大きな変動はない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・現状が続くとみている。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・来月の生産は若干落ち込むが、6～7月の生産量は確保している。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・夏に向かってジュエリーも大ぶりの物や派手目の物からライト感覚な商材に変わっていくため、市況が多少良くなって大きな回復は見込めない。
	建設業（経営者）	・将来的な景気の不安もあるので、とりあえず物価上昇前にリフォームでもするかという気持ちのようである。
	金融業（調査担当）	・非製造業の弱さが続くものの、製造業を中心に、需要は高水準を維持する見通しであり、全体では緩やかな回復が続くことが予想される。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・小売店主の話では、「景気の良しあし、今後どうなるのか全く分からないので、しばらくはこのまま続くのではないか。」とのことである。
	食料品製造業（総務担当）	・主力品の売上に陰りが出ている。加えて、原材料だけでなく、副素材まで値上げの要求がきている、明るい話題を見いだすのが苦しい状況である。
	x 出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りがとても大変である。
雇用 関連	-	-
(甲信越)	職業安定所（職員）	・当所の新規利用者の半数は在職者で占められることから、企業の業績に結び付いてはならず、好景気とまではいえない。しかし、求人倍率は高く、有効求人数は3か月連続で増加していることから、緩やかな回復に向かうと予想する。
	人材派遣会社（営業担当）	・土日の買物客が増えていない。安価なスーパーや3%割引だけで来客数が増えており、ふだん来ない客が来ているためか、駐車場が大混雑である。客は、購買意欲が湧かずに安い物に飛びついている。
	求人情報誌製作会社（経営者）	・飲食店、流通、サービス業のパート、アルバイトの募集を見てみると、少しでも応募者が増えるように時給を上げているところが多い。
	職業安定所（職員）	・新規求職者数は、前月より減少幅が縮まり5.6%の減少となっている。人手不足により必要な人員確保ができず、企業活動に影響を与えている。

	職業安定所（職員）	・製造業は依然半導体関連を中心に、好調を維持している。企業からは、「人手不足により受注機会を逃している」との声も聞かれる。今後も人手不足の状況が続き、有効求人数も同水準で推移すると見込まれる。
	*	*
x	-	-